

Q&A コーナー

過去に実施したアンケートの中から、多く寄せられた質問をピックアップしました。

Q.1 ▶ ブロードリーフのソフトウェアは何ができるのか？

A.1▶ 当社のソフトウェアは、お客様が業務を効率的に進めるために必要な機能を備えています。お客様の業種ごとにソフトウェアの種類が異なっており、装備されている機能も違います。例えば、自動車の点検や整備をおこなう整備工場向けの業務ソフトウェアには、整備伝票作成や、受付・予約管理、実績集計、販売管理、顧客・車両管理などの機能が備わっています。このように、それぞれの業種特有の業務に特化した機能を持つソフトウェアを提供することで、お客様の事業継続と事業創造を支援しています。

Q.2 ▶ ブロードリーフのソフトウェアの強みは？

A.2▶ 当社のソフトウェアの強みは、圧倒的な情報量を誇る独自データベースを利用できることです。当社の独自データベースは、約40年にわたって収集・蓄積した自動車の車両情報や部品情報などを、独自の管理体系で整理しています。また、お客様が入力処理した履歴データを集計・分析・学習することで、ソフトウェア利用時の操作や入力を簡略化することができます。このようなデータベースや学習結果を、日々最新の状態で利用できるソフトウェアであることが、当社の競争優位性につながっています。

Q.3 ▶ SDGsの取り組みは？

A.3▶ 当社は社会のITインフラに深く関わる会社として、下記の取り組みを通じて社会課題の解決に積極的に取り組んでいます。

詳細は当社ホームページをご覧ください (<https://www.broadleaf.co.jp/sustainability/sdgs/>)。

取り組み内容	関連するSDGs
誰もが安心・快適に暮らせる 移動社会実現への貢献 自動車が進化する中で適切な整備に必要な高品質なITサービスを提供	   
持続可能な循環型社会の構築 中古部品を扱う電子市場の運営など資源の循環促進のための施策を実施	   
平等で多様性を重視した社会の実現 社員や事業活動に関わる全ての 人・企業が相互信頼できる環境を整備	 

当社の新型コロナウイルス感染症対策について

当社は2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症対策として、様々な施策を継続しています。主な施策は下記の通りです。

1 「新型コロナウイルス対策本部」の設置・運営

検討事項の発生時および毎週木曜日に会議を開催し、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報をもとに組織横断的に協議をおこない、変化する状況に迅速に対応しています。

2 テレワークの実施および環境の整備

緊急事態宣言対象地域以外についてもテレワーク実施率80%を目標とし(対象地域は100%目標)、テレワーク環境整備やグループウェア、Web会議の活用によって新しい働き方を推進しています。そのため、テレワーク可能な職場におけるテレワーク実施率は概ね80%で推移しています。

また、関係省庁と東京都が主催する「テレワーク・デイズ2021」にもテレワーク実施団体として参加するなど、組織として新しい働き方を推進しています。

- 詳細は当社ホームページやプレスリリースをご覧ください。
<https://www.broadleaf.co.jp/sustainability/covid/>



表紙・裏表紙画像のコンセプト 表紙の画像は、当社が重要な分岐点にいることを分かれ道で表現しています。裏表紙の画像は、これまで通りの道と、サブスクリプションという新たな道を標識で表現しています。

当社IRに関する詳細情報は
当社ホームページをご確認ください。
<https://www.broadleaf.co.jp/ir/>

ツイッターでも
様々な当社IR情報を発信しています。
ユーザー名:@broadleaf_ir



株式会社ブロードリーフ

〒140-0002
東京都品川区東品川4-13-14
グラスキューブ品川8F

<https://www.broadleaf.co.jp/>



この冊子は、適切に管理された森林で生産された木材を原料に含む「FSC®認証紙」および、印刷用インキに含まれる石油系溶剤の一部を植物油に替えた「植物油インキ」を使用し、印刷工程において水を全く使用しない「水なし印刷」で印刷しています。